

高校生の進路選択に関する調査 「進学センサス2016」発表

Part 1

留学意識

(P 3)

**大学進学者の3人に1人が留学意向あり
「就職」を意識し、男子の意向者は増加
一方、女子は「治安への不安」により減少**

Part 2

進路選択プロセス

(P 10)

**大学進学者の出願校数は約3校
オープンキャンパスの参加率は94.2%
3人に1人が授業料の安さを重視**

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口文洋）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセスについての調査を実施いたしました。一部を抜粋してご報告申し上げます。

リクルート進学総研 所長 小林 浩（こばやしひろし）

<プロフィール>

1988年（株）リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や、『ケイコとマネブ』商品企画、マネジャー、大学ソリューション営業、社団法人経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。

文部科学省中央教育審議会 高大接続特別部会臨時委員。

リクルート進学総研所長 兼、『リクルートカレッジマネジメント』編集長



<リクルート進学総研とは> URL：<http://souken.shingakunet.com/>

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌『カレッジマネジメント』の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌『キャリアガイダンス』シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

<取材にお答えできます>

- ・大学をめぐる政策動向全般について ・高校生の進路や将来についての価値観 ・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ ・マーケット動向や事例など、高校生～大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「進学センサス2016」リクルート進学総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

- 調査目的：高校生の進路選択プロセス（行動・意識）の現状を把握する
- 調査期間：2016年3月18日（金）～4月11日（月）投函締切（4月18日（月）到着分までを入力対象とした）
- 調査方法：質問紙による郵送法
- 調査対象：2016年に高校を卒業した全国の男女50,000人
 ※平成27年度学校基本調査の「全日制・本科3年生生徒数（県別）」を基に、リクルートが保有するリスト（注）より調査対象とする数を抽出
 （注）リクルートが保有するリストとは、リクルートが発行する進学情報誌「リクナビ進学ブック」および、配信する進学情報WEBサービス「リクナビ進学」（<http://shingakunet.com>）会員リスト
- 有効回答数：4,424人（回答率8.8%） うち、本プレスリリースでは大学進学者3,051人が対象

≪2013年同調査概要≫

- ・調査期間：2013年3月19日（火）～4月8日（月）投函締切
- ・調査方法：2016年調査同様
- ・調査対象：2013年に高校を卒業した全国の男女50,000人。割付方法は2016年調査同様
- ・有効回答数：4,985人（回答率10.0%） うち、本プレスリリースでは大学進学者3,256人が対象

≪2011年同調査概要≫

- ・調査期間：2011年3月18日（金）～4月8日（金）投函締切
- ・調査方法：2016年調査同様
- ・調査対象：2011年に高校を卒業した全国の男女80,544人。
 ただし東日本大震災の影響を考慮し、青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島的全エリアと、茨城の一部エリアを除いた。割付方法は2016年調査同様
- ・有効回答数：10,882人（回答率13.5%） うち、本プレスリリースでは大学進学者7,502人が対象

【本集計対象者（大学進学者）プロフィール】

■性別（大学進学者／単一回答）

		調査数	男子	女子	無回答
2016年	大学進学者 全体	3051	41.5	58.1	0.4
2013年	大学進学者 全体	3256	44.2	55.3	0.5
2011年	大学進学者 全体	7502	43.8	55.2	1.0

【2016年属性別】

文理別		調査数	男子	女子	無回答
文理別	文系	1695	35.5	64.1	0.4
	理系	1220	50.0	49.5	0.5
	どちらでもない	106	42.5	57.5	—

■高校所在エリア（大学進学者／単一回答）

* 2011年は、東日本大震災の影響を考慮し「東北」は調査対象から除いている

		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
2016年	大学進学者 全体	3051	3.5	6.3	9.0	31.2	12.0	2.0	20.0	6.9	8.6	—	0.4
2013年	大学進学者 全体	3256	2.9	5.6	9.5	33.0	13.3	2.8	17.4	8.0	7.1	—	0.6
2011年	大学進学者 全体	7502	2.9	*	9.3	35.4	13.4	2.3	19.3	8.0	8.9	—	0.4

【2016年属性別】

男女別		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
男女別	男子	1266	3.8	6.6	9.4	31.1	12.1	2.5	18.9	7.6	7.9	—	0.1
	女子	1772	3.3	6.2	8.7	31.4	12.0	1.6	21.0	6.5	9.1	—	0.1
文理別	文系	1695	2.9	5.0	7.9	33.0	13.1	1.8	21.1	6.4	8.3	—	0.5
	理系	1220	4.0	8.1	10.3	28.5	11.1	2.0	18.6	7.5	9.5	—	0.3
	どちらでもない	106	6.6	5.7	10.4	32.1	7.5	4.7	19.8	8.5	4.7	—	—

■高校在籍時の文理の志向（大学進学者／単一回答）

		調査数	文系	理系	あてはまらない	無回答
2016年	大学進学者 全体	3051	55.6	40.0	3.5	1.0
2013年	大学進学者 全体	3256	57.4	37.9	4.6	0.1
2011年	大学進学者 全体	7502	59.7	35.5	4.1	0.8

【2016年属性別】

男女別		調査数	文系	理系	あてはまらない	無回答
男女別	男子	1266	47.5	48.2	3.6	0.8
	女子	1772	61.3	34.1	3.4	1.1

グローバル化社会における 大学進学者の留学意識

大学進学者の3人に1人が留学意向あり 「就職」を意識し、男子の意向者は増加 一方、女子は「治安への不安」により減少

大学在学中の留学意向について (P4~P5)

■ 大学進学者の3人に1人が留学意向あり (33.9%)。

前々回調査 (2011年) から微増。

意向あり 33.9% 意向なし 35.9%

意向あり 2011年 32.8% → 2013年 33.4% → 2016年 33.9%

■ 男子の留学意向者は、前々回調査 (2011年) より2回連続で増加 (2011年より+3.5ポイント)。

一方、女子は前回調査 (2013年) より減少 (-2.4ポイント)。

男子 意向あり 2011年 25.3% → 2013年 25.8% → 2016年 28.8%

女子 意向あり 2011年 38.9% → 2013年 39.7% → 2016年 37.3%

留学したい理由 (P6~P7)

■ 留学したい理由トップは“英語 (外国語での会話) の上達”。

前々回調査 (2011年) と比較し、男子で増加したのは、

「就職の時に役に立つ、有利になる」 (+4.3ポイント)。

留学したいと思わない理由 (P8~P9)

■ 留学への3大ハードルは ①費用 ②外国語 ③治安

前々回調査 (2011年) と比較すると、特に女子で「治安」への不安が増加 (+7.5ポイント)。

■ 大学進学者の3人に1人が留学意向あり (33.9%) 前々回調査 (2011年) から微増。

意向あり 33.9% 意向なし 35.9%
意向あり 2011年 32.8% → 2013年 33.4% →2016年 33.9%

■ 留学意向が高いのは、女子>男子、文系>理系、 文系女子>文系男子>理系女子>理系男子の順。

意向あり 女子 37.3% > 男子 28.8%
文系 38.5% > 理系 27.8%

文系女子 42.0% > 文系男子 31.8% > 理系女子 28.6% > 理系男子 26.6%

■ 留学意向(大学進学者/単一回答)

	n	留学意向あり			留学意向なし		無回答	留学意向あり	留学意向なし
		留学したい	できれば留学したい	どちらでもよい	あまり留学したいと思わない	留学したいと思わない			
●凡例									
2016年 大学進学者 全体	(n=3051)	16.7%	17.2	16.5	13.2	22.6	13.8	33.9	35.9
2013年 大学進学者 全体	(n=3256)	17.0	16.4	18.0	12.9	25.6	10.0	33.4	38.6
2011年 大学進学者 全体	(n=7502)	15.5	17.3	17.4	13.8	26.7	9.4	32.8	40.4
【2016年属性別】									
男女別 男子	(n=1266)	13.5	15.3	19.1	14.3	24.5	13.3	28.8	38.8
女子	(n=1772)	18.8	18.5	14.6	12.5	21.4	14.2	37.3	33.9
文理別 文系	(n=1695)	21.1	17.4	14.9	12.8	19.1	14.7	38.5	31.9
理系	(n=1220)	10.7	17.0	18.9	13.8	26.6	13.0	27.8	40.4
文理×男女別 文系・男子	(n= 601)	15.6	16.1	18.6	14.1	20.6	14.8	31.8	34.8
文系・女子	(n=1087)	23.9	18.1	12.8	12.1	18.4	14.6	42.0	30.5
理系・男子	(n= 610)	11.3	15.2	20.0	14.3	27.2	12.0	26.6	41.5
理系・女子	(n= 604)	9.8	18.9	17.9	13.2	26.2	14.1	28.6	39.4

※「留学したい」「できれば留学したい」「どちらでもよい」「留学したいと思わない」「あまり留学したいと思わない」の5段階で質問し、前2つの選択肢の回答を合わせて「留学意向あり」、後ろ2つの回答を合わせて「留学意向なし」とした。

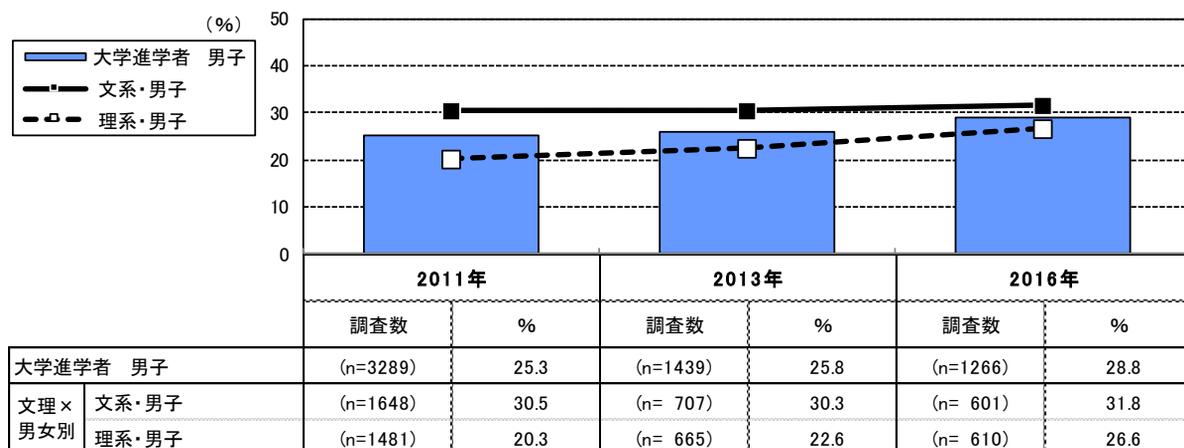
■男子の留学意向者は、
前々回調査（2011年）より2回連続で増加
（2011年より+3.5ポイント）。
特に理系男子では6.3ポイント増加。

男子 意向あり 2011年 25.3% → 2013年 25.8% → 2016年 28.8%
理系男子 意向あり 2011年 20.3% → 2013年 22.6% → 2016年 26.6%

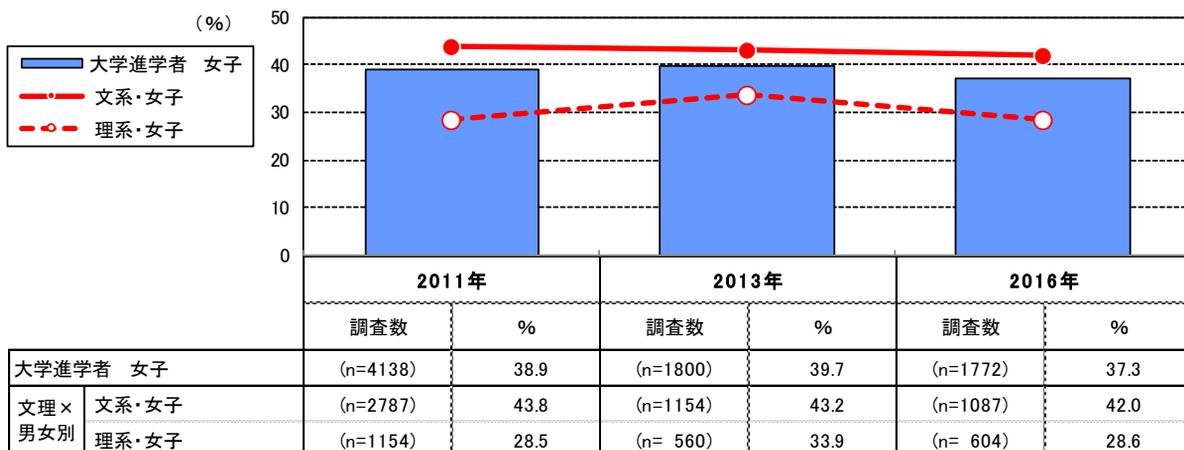
■一方、女子は前回調査（2013年）より減少（-2.4ポイント）。

女子 意向あり 2013年 39.7% → 2016年 37.3%

■留学意向：男子の『留学意向あり』経年比較（大学進学者 男子／各単一回答）



■留学意向：女子の『留学意向あり』経年比較（大学進学者 女子／各単一回答）



※「留学したい」「できれば留学したい」「どちらでもよい」「留学したいと思わない」「あまり留学したいと思わない」の5段階で質問し、前2つの選択肢の回答を合わせて「留学意向あり」とした。

■ 留学したい理由トップは “英語（外国語での会話）の上達”。

・ 留学したい理由

- 1位「英語（外国語）で会話ができるようになりたい」（74.5%）
- 2位「自分の視野や考え方を広げたい」（69.4%）
- 3位「外国の価値観・文化などを理解できる」（59.7%）

■ 前回調査（2013年）と比較して、 増加したのは

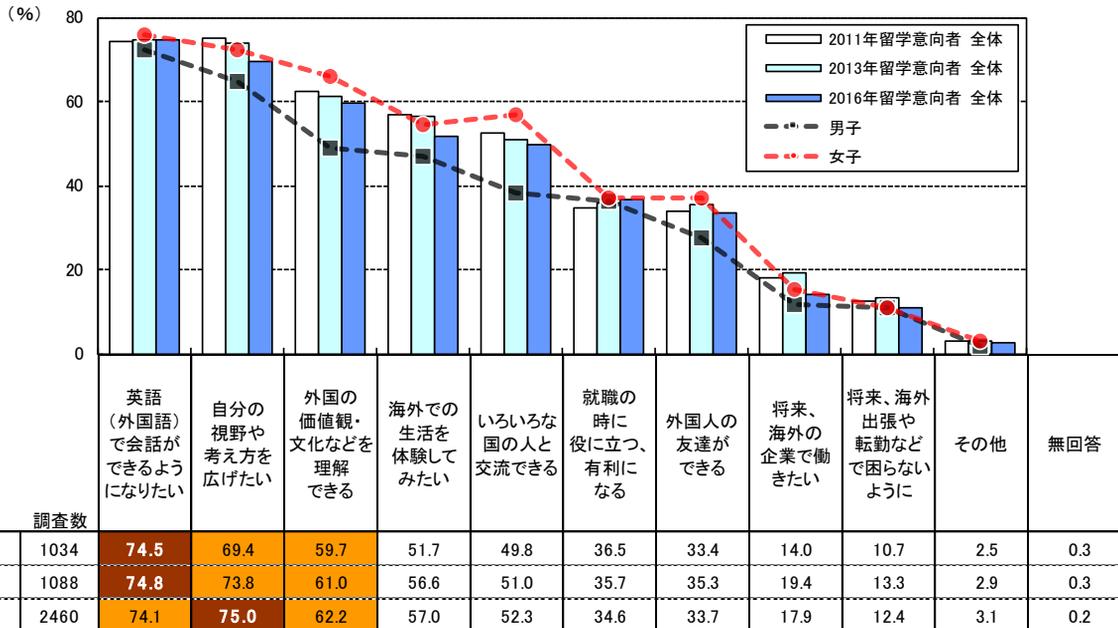
「就職の時に役に立つ」のみ（+0.8ポイント）。

減少したのは

「海外の企業で働きたい」（-5.4ポイント）、

「海外の生活を体験してみたい」（-4.9ポイント）。

■ 留学したい理由（大学進学者における留学意向者／複数回答）



【2016年属性別】

属性	調査数	英語（外国語）で会話ができるようになりたい	自分の視野や考え方を広げたい	外国の価値観・文化などを理解できる	海外での生活を体験してみたい	いろいろな国の人と交流できる	就職の時に役に立つ、有利になる	外国人の友達ができる	将来、海外の企業で働きたい	将来、海外出張や転勤などで困らないように	その他	無回答
男女別												
男子	365	72.1	64.9	48.8	47.1	38.1	36.2	27.4	11.8	10.7	1.9	0.5
女子	661	75.8	72.2	66.1	54.5	56.7	36.9	36.9	15.3	10.9	2.9	—
文理別												
文系	652	75.8	69.5	64.6	53.8	52.9	38.2	36.3	14.6	11.5	3.4	0.3
理系	339	72.9	69.6	50.7	48.1	43.7	33.3	27.1	11.2	8.6	0.6	0.3
文理×男女別												
文系・男子	191	74.9	63.4	53.4	49.7	38.7	35.6	30.4	8.4	11.0	2.6	1.0
文系・女子	457	76.1	72.2	69.4	55.6	59.1	39.6	38.9	17.1	11.8	3.7	—
理系・男子	162	69.8	67.9	42.6	43.2	36.4	35.8	24.1	14.2	8.6	0.6	—
理系・女子	173	75.7	71.7	59.5	53.2	51.4	31.2	30.6	8.7	8.7	0.6	—

※「2016年 留学意向者 全体」の降順ソート

100.0 「2016年 留学意向者 全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2016年 留学意向者 全体」より5ポイント以上低い

全体値時系列→ 100.0 最も高い
100.0 2〜3番目に高い

■ 前々回調査（2011年）から2回連続で増加した項目を見ると、
男女とも増加したのは
「就職の時に役に立つ、有利になる」のみであった。
（男子+4.3ポイント、女子+0.9ポイント）

■ 特に理系男子では、9.6ポイントの増加。

■ 留学したい理由：文理×男女別の経年比較（大学進学者における留学意向者／複数回答）

(%)

	調査数	英語 (外国語) で会話が できるよう になりたい	自分の 視野や 考え方を 広げたい	外国の 価値観・ 文化などを 理解 できる	海外での 生活を 体験して みたい	いろいろな 国の人と 交流できる	就職の 時に 役に立つ、 有利に なる	外国人の 友達が できる	将来、 海外の 企業で働 きたい	将来、海外 出張や 転勤など で困らない ように	その他	無回答
--	-----	---------------------------------------	----------------------------	-----------------------------------	----------------------------	------------------------	---------------------------------	--------------------	---------------------------	--------------------------------------	-----	-----

【留学意向者 男子】

2016年 留学意向者 男子	365	72.1	64.9	48.8	47.1	38.1	36.2	27.4	11.8	10.7	1.9	0.5
2013年 留学意向者 男子	371	72.5	71.2	51.2	54.7	43.4	34.2	29.6	18.9	17.3	3.2	0.5
2011年 留学意向者 男子	832	72.1	70.1	51.3	51.4	42.5	31.9	25.1	14.3	12.3	2.9	0.2
2016年 留学意向者 文系・男子	191	74.9	63.4	53.4	49.7	38.7	35.6	30.4	8.4	11.0	2.6	1.0
2013年 留学意向者 文系・男子	214	74.8	71.0	53.3	56.1	43.9	37.9	32.2	16.8	15.4	2.8	0.5
2011年 留学意向者 文系・男子	502	73.1	71.7	55.8	51.6	44.6	35.9	26.9	15.3	12.5	2.4	0.2
2016年 留学意向者 理系・男子	162	69.8	67.9	42.6	43.2	36.4	35.8	24.1	14.2	8.6	0.6	—
2013年 留学意向者 理系・男子	150	70.7	71.3	48.0	52.0	43.3	30.0	27.3	22.7	20.0	4.0	0.7
2011年 留学意向者 理系・男子	301	70.8	67.4	44.2	50.2	39.2	26.2	21.6	12.6	12.6	4.0	0.3

【留学意向者 女子】

2016年 留学意向者 女子	661	75.8	72.2	66.1	54.5	56.7	36.9	36.9	15.3	10.9	2.9	—
2013年 留学意向者 女子	714	76.1	75.1	66.1	57.7	54.9	36.3	38.1	19.7	11.1	2.8	0.1
2011年 留学意向者 女子	1609	75.1	77.6	68.0	59.9	57.5	36.0	38.3	19.8	12.6	3.2	0.2
2016年 留学意向者 文系・女子	457	76.1	72.2	69.4	55.6	59.1	39.6	38.9	17.1	11.8	3.7	—
2013年 留学意向者 文系・女子	498	76.1	74.9	69.1	59.0	55.0	38.0	39.2	21.5	11.8	3.0	0.2
2011年 留学意向者 文系・女子	1220	76.7	77.5	71.7	60.7	59.2	38.4	39.7	21.6	13.5	3.1	0.2
2016年 留学意向者 理系・女子	173	75.7	71.7	59.5	53.2	51.4	31.2	30.6	8.7	8.7	0.6	—
2013年 留学意向者 理系・女子	190	74.7	78.4	59.5	54.2	53.7	31.6	37.4	17.4	9.5	1.6	—
2011年 留学意向者 理系・女子	329	72.0	79.3	58.1	57.1	53.2	27.1	33.1	13.1	9.1	3.0	0.3

※「2016年 留学意向者 全体」の降順ソート

100.0 2011年から2回連続増加

100.0 2011年から2回連続減少

100.0 2011年から2回連続増加した項目のうち、2011年から5ポイント以上増加

100.0 2011年から2回連続減少した項目のうち、2011年から5ポイント以上減少

■ 留学への3大ハードルは

- ①費用 ②外国語 ③治安

・留学したいと思わない理由

- 1位「費用が高いから」(43.9%)
- 2位「英語(外国語)が苦手だから」(40.5%)
- 3位「海外の治安に不安があるから」(34.3%)

■ 前回調査(2013年)と比較して、

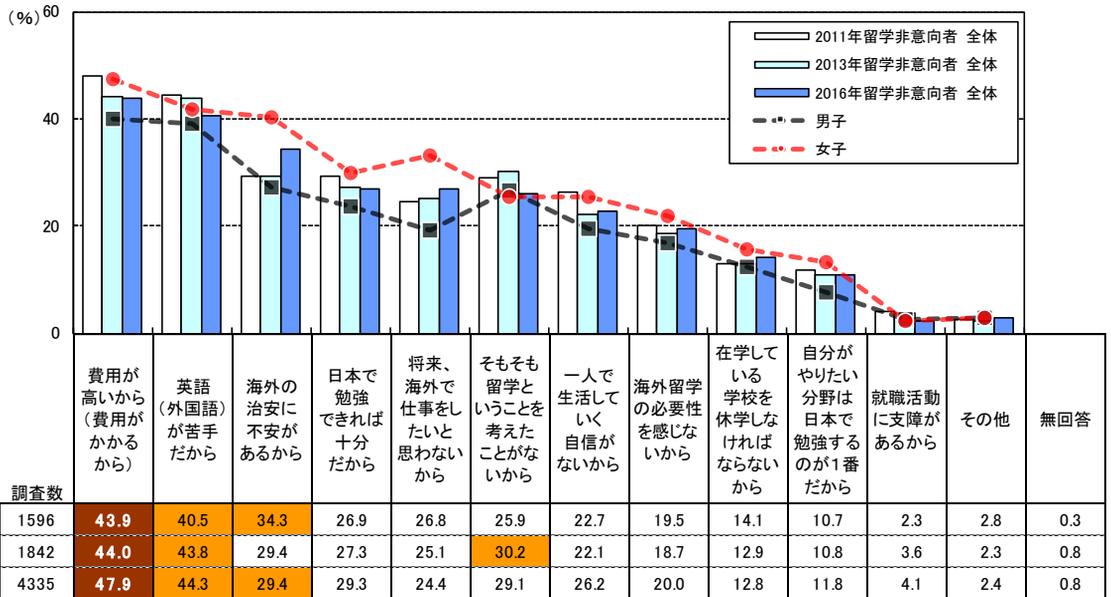
増加したのは

「海外の治安に不安があるから」(+4.9ポイント)。

減少したのは

「留学ということを考えたことがない」(-4.3ポイント)。

■ 留学したいと思わない理由(大学進学者における留学非意向者(どちらでもよい含む)／複数回答)



【2016年属性別】

属性	調査数	費用が高いから(費用がかかるから)	英語(外国語)が苦手だから	海外の治安に不安があるから	日本で勉強できれば十分だから	将来、海外で仕事をしたいと思わないから	そもそも留学とすることを考えたことがないから	一人で生活していく自信がないから	海外留学の必要性を感じないから	在学している学校を休学しなければならないから	自分がやりたい分野は日本で勉強するのが1番だから	就職活動に支障があるから	その他	無回答	
男女別	男子	733	40.0	39.2	27.3	23.5	19.2	26.5	19.5	16.8	12.3	7.6	2.5	2.7	0.4
	女子	860	47.3	41.6	40.3	29.9	33.0	25.3	25.5	21.9	15.7	13.1	2.1	2.8	0.2
文理別	文系	793	45.3	40.6	35.7	26.4	30.1	27.0	26.0	18.4	14.4	11.2	2.4	2.6	0.5
	理系	723	41.2	39.8	33.5	27.5	23.8	24.8	19.8	20.9	13.8	10.5	2.1	2.9	0.1
文理×男女別	文系・男子	321	42.4	38.3	27.1	24.0	23.7	26.8	22.4	14.6	13.1	6.2	1.9	2.2	0.6
	文系・女子	471	47.3	42.0	41.6	28.0	34.6	27.0	28.5	21.0	15.3	14.6	2.8	3.0	0.4
	理系・男子	375	37.1	38.7	27.7	24.0	15.7	26.4	17.9	18.1	11.7	9.3	2.9	3.2	0.3
	理系・女子	346	46.0	41.3	39.6	31.2	32.1	23.1	22.0	23.7	16.2	11.6	1.2	2.6	—

※「2016年 留学非意向者 全体」の降順ソート

全体値時系列ー 100.0 最も高い

100.0 「2016年 留学非意向者 全体」より5ポイント以上高い

100.0 2~3番目に高い

100.0 「2016年 留学非意向者 全体」より5ポイント以上低い

■ 前々回調査 (2011年) から、
2回連続で女子で増加したのは、
「海外の治安に不安があるから」 (+7.5ポイント)
「将来、海外で仕事をしたいと思わないから」 (+3.9ポイント)。

■ 一方、女子で減少したのは、
「一人で生活していく自信がないから」 (-7.0ポイント)
「外国語が苦手だから」 (-5.7ポイント)。

■ 留学したいと思わない理由: 文理×男女別の経年比較(大学進学者における留学非意向者(どちらでもよい含む)/複数回答)

(%)

調査数	費用が高いから (費用がかかるから)	英語(外国語)が 苦手だから	海外の治安に不安 があるから	日本で勉強でき れば十分だから	将来、海外で仕事 をしたいと思わ ないから	そもそも留学とい うことを考えたこ とがないから	一人で生活してい く自信がないから	海外留学の必要 性を感じないから	在学している学校 を休学しなければ ならないから	自分がやりたい分 野は日本で勉強す るのが1番だから	就職活動に支障が あるから	その他	無回答
-----	-----------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------	---------------------	--------------------------------	----------------------------------	------------------	-----	-----

【留学非意向者 男子】

2016年 留学非意向者 男子	733	40.0	39.2	27.3	23.5	19.2	26.5	19.5	16.8	12.3	7.6	2.5	2.7	0.4
2013年 留学非意向者 男子	928	41.3	42.6	26.1	26.0	20.8	30.3	18.2	16.4	11.1	9.9	3.8	2.0	1.1
2011年 留学非意向者 男子	2149	45.6	41.3	26.2	27.8	19.6	30.9	20.1	18.1	10.8	10.3	4.1	1.6	1.2
2016年 留学非意向者 文系・男子	321	42.4	38.3	27.1	24.0	23.7	26.8	22.4	14.6	13.1	6.2	1.9	2.2	0.6
2013年 留学非意向者 文系・男子	426	43.9	39.9	23.7	22.5	20.9	29.1	18.8	16.3	10.8	12.4	4.2	2.1	1.2
2011年 留学非意向者 文系・男子	990	48.5	38.7	27.5	27.5	21.4	29.2	21.0	19.9	10.4	11.3	4.5	1.4	0.9
2016年 留学非意向者 理系・男子	375	37.1	38.7	27.7	24.0	15.7	26.4	17.9	18.1	11.7	9.3	2.9	3.2	0.3
2013年 留学非意向者 理系・男子	453	38.2	44.6	28.9	29.8	21.4	29.4	18.5	15.0	12.1	7.5	3.5	2.2	1.1
2011年 留学非意向者 理系・男子	1042	43.6	44.0	25.6	28.5	18.3	32.1	19.4	17.6	11.3	9.5	3.9	1.4	1.3

【留学非意向者 女子】

2016年 留学非意向者 女子	860	47.3	41.6	40.3	29.9	33.0	25.3	25.5	21.9	15.7	13.1	2.1	2.8	0.2
2013年 留学非意向者 女子	901	47.2	45.1	33.2	29.1	29.7	30.1	26.1	21.4	14.8	11.9	3.3	2.4	0.6
2011年 留学非意向者 女子	2137	50.4	47.3	32.8	30.9	29.1	27.3	32.5	21.9	14.7	13.4	4.2	3.2	0.4
2016年 留学非意向者 文系・女子	471	47.3	42.0	41.6	28.0	34.6	27.0	28.5	21.0	15.3	14.6	2.8	3.0	0.4
2013年 留学非意向者 文系・女子	525	46.7	45.3	36.0	30.5	32.2	28.8	26.7	21.9	14.1	13.0	3.2	3.2	0.4
2011年 留学非意向者 文系・女子	1297	53.9	46.7	34.8	32.8	29.5	26.0	35.5	23.2	14.8	15.3	4.9	2.9	0.5
2016年 留学非意向者 理系・女子	346	46.0	41.3	39.6	31.2	32.1	23.1	22.0	23.7	16.2	11.6	1.2	2.6	—
2013年 留学非意向者 理系・女子	322	48.1	42.2	29.8	27.6	26.4	31.4	24.2	21.1	16.8	10.2	3.7	1.6	0.3
2011年 留学非意向者 理系・女子	725	44.8	46.9	30.3	28.3	28.3	29.0	27.0	20.3	15.0	10.8	3.2	3.7	—

※「2016年 留学非意向者 全体」の降順ソート

100.0 2011年から2回連続増加

100.0

2011年から2回連続増加した項目のうち、2011年から5ポイント以上増加

100.0 2011年から2回連続減少

100.0

2011年から2回連続減少した項目のうち、2011年から5ポイント以上減少

大学進学者の進路選択プロセス

大学進学者の出願校数は約3校 オープンキャンパスの参加率は94.2% 3人に1人が授業料の安さを重視

大学への出願校数・各推薦入試の検討・受験状況 (P11)

- **大学進学者の平均出願校数は約3校（2.9校）。**
 - ・前々回調査（2011年）と比較すると、興味を持った校数は減少。（6.4校→5.8校）
出願校数は微減。（3.0校→2.9校）
- **推薦入試は62.7%が検討し、52.0%が受験。**
A O入試は19.4%が検討し、11.0%が受験。

オープンキャンパスの参加状況 (P12)

- **大学進学者の94.2%がオープンキャンパスに参加。平均参加校数は3.8校**
 - ・参加率は前々回調査（2011年）の92.1%から、2.1ポイントの増加。
- **高校1年時の参加率が増加し、全体的に早期化傾向**
 - ・高校1年時の参加率 2011年34.7% →2013年38.0% → 2016年46.5%

志望校検討時の重視度 (P13)

- **3人に1人が、授業料の安さを重視**
 - ・志望校検討時、「授業料が安いこと」については32.9%、
「奨学金制度が充実していること」については22.4%が重視。
- **大都市圏よりも、大都市圏以外のほうが、費用に対する関心度が高い**

「授業料が安いこと」を重視	大都市圏以外	37.9%	>	大都市圏	28.8%
「奨学金制度の充実」を重視	大都市圏以外	25.3%	>	大都市圏	19.9%

■ 大学進学者の出願校数は約3校（2.9校）。

- ・ 前々回調査（2011年）と比較すると、興味を持った校数は減少（6.4校→5.8校）。出願校数は微減（3.0校→2.9校）。
- ・ 校数の分布を見ると「1校」（35.1%）について「5校以上」が多い（20.1%）。

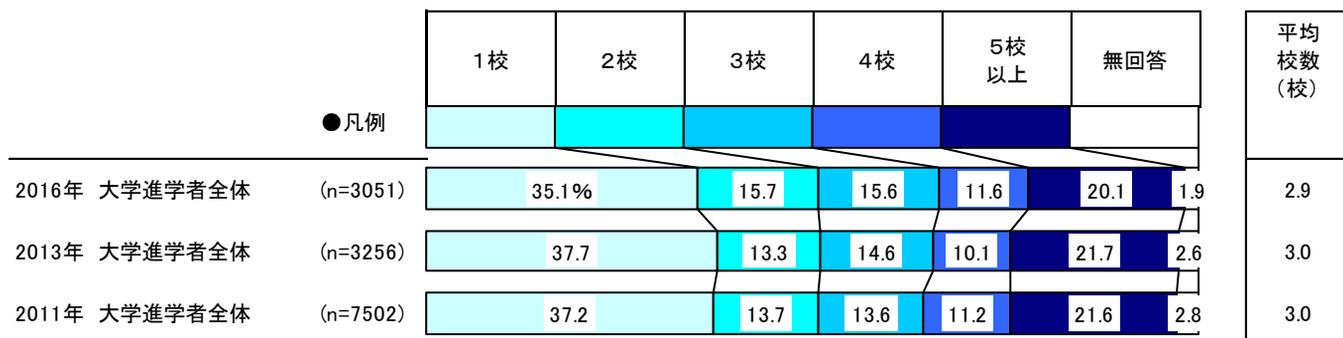
■ 推薦入試は62.7%が検討し、52.0%が受験。 AO入試は19.4%が検討し、11.0%が受験。

*参考:実際に両入試で大学に入学した割合は、
平成27年度で、推薦入試34.7%、AO入試8.8%（文部科学省調べ）

■ 大学に興味関心を持った学校数、出願した学校数と述べ件数: 平均値一覧(大学進学者/実数回答)

	調査数	興味を持った学校 (校数)	出願した学校 (校数)
2016年 大学進学者 全体	3051	5.8 (校)	2.9 (校)
2013年 大学進学者 全体	3256	6.2 (校)	3.0 (校)
2011年 大学進学者 全体	7502	6.4 (校)	3.0 (校)

■ 出願した学校数の分布(大学進学者/単一回答)



■ 検討した入試方法と、実際に受験した入試方法(大学進学者/複数回答)

	調査数	推薦入試・計	推薦入試 (公募)	推薦入試 (指定校)	自己推薦 入試	AO入試
【検討率】 2016年 大学進学者 全体	3051	62.7	38.5	30.6	9.7	19.4
【受験率】 2016年 大学進学者 全体	3051	52.0	23.8	18.7	3.4	11.0

■ 大学進学者の94.2%がオープンキャンパス（※）に参加。

・前々回調査（2011年）の92.1%から、2.1ポイントの増加。

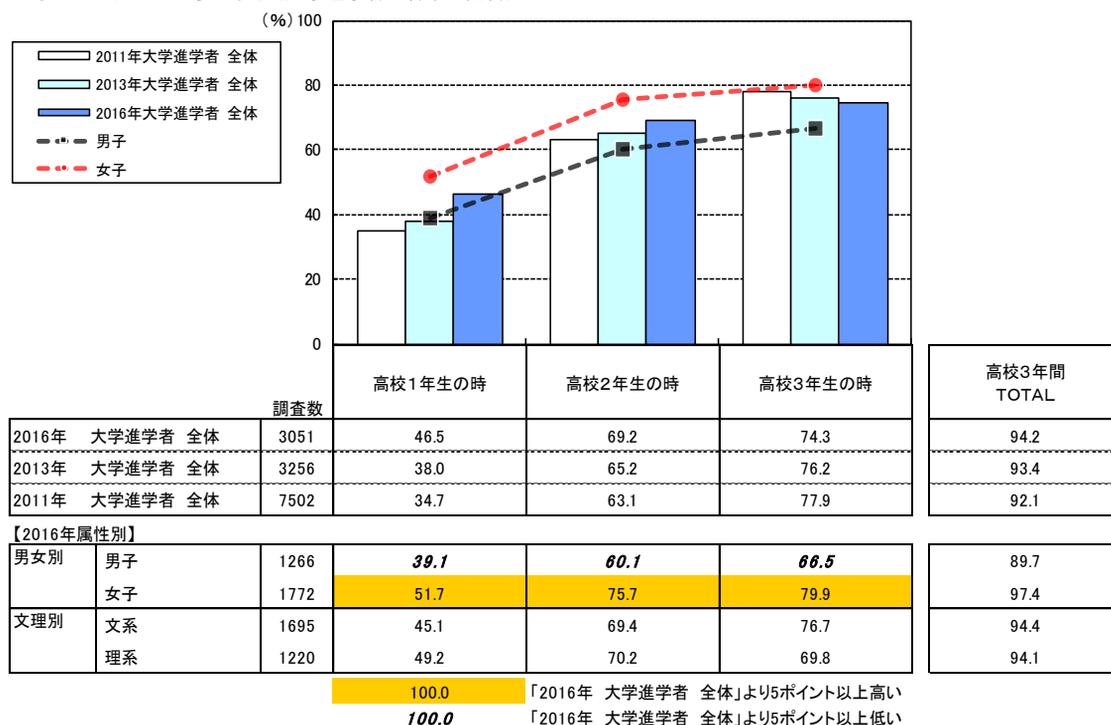
■ 高校1年時の参加率が、前々回調査（2011年）より2回連続で増加。（2011年より+11.8ポイント） 全体的に早期化傾向。

・高校1年生の参加率 2011年34.7% →2013年38.0% → 2016年46.5%

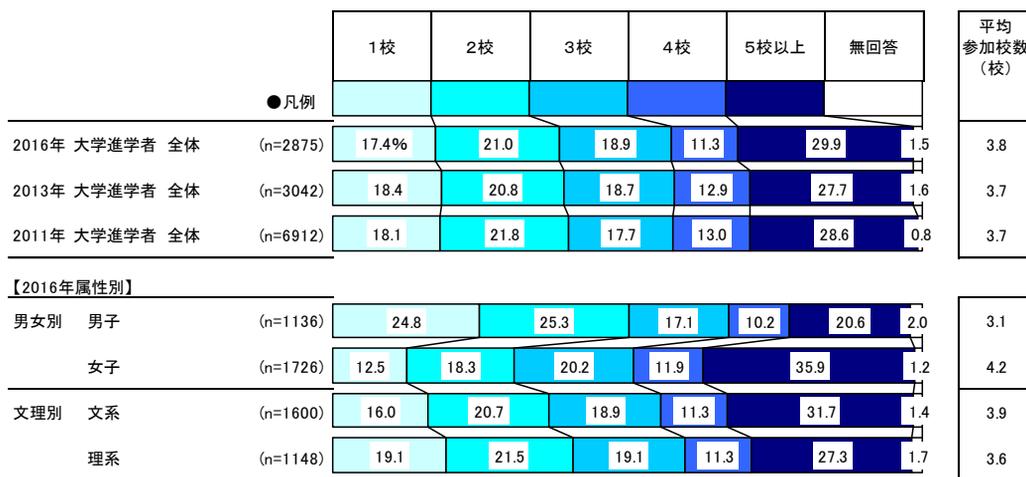
■ 参加校数は平均3.8校。

・男女別に見ると、男子が平均3.1校に対し、女子が4.2校と上回っている。

■オープンキャンパス参加状況（大学進学者／各単一回答）



■オープンキャンパス参加校数（大学進学者のうち学校主催イベント参加者／単一回答）



※質問紙では、「オープンキャンパス」「学校見学会」「体験入学」などの学校主催のイベントについて、という記載をしたが、本リリースではまとめて「オープンキャンパス」とした。

■ 大学進学者の3人に1人が、授業料の安さを重視。

- ・ 志望校検討時の重視度は、「授業料が安いこと」については32.9%、「奨学金制度が充実していること」については22.4%が重視。

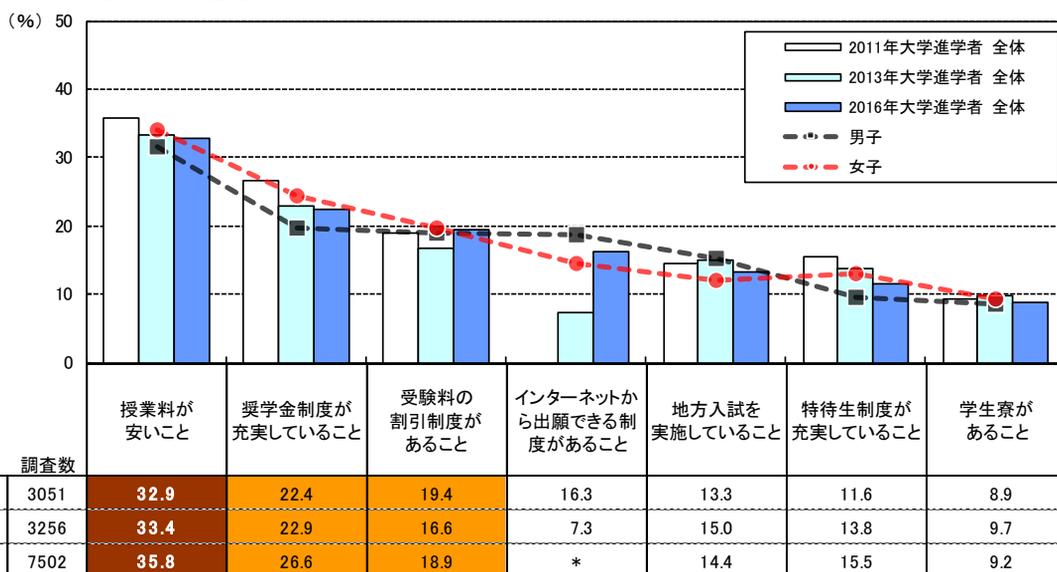
■ 理系が文系より、授業料の安さを重視。

「授業料が安いこと」を重視 理系 36.1% > 文系 30.7%

■ 大都市圏以外が大都市圏より、費用に対する関心度が高い。

「授業料が安いこと」を重視 大都市圏以外 37.9% > 大都市圏 28.8%
 「奨学金制度の充実」を重視 大都市圏以外 25.3% > 大都市圏 19.9%

■ 進学関連費用への重視度 (大学進学者 / 各単一回答)



【2016年属性別】

属性	性別	調査数	授業料が安いこと (%)	奨学金制度が充実していること (%)	受験料の割引制度があること (%)	インターネットから出願できる制度があること (%)	地方入試を実施していること (%)	特待生制度が充実していること (%)	学生寮があること (%)
男女別	男子	1266	31.5	19.7	19.0	18.6	15.2	9.5	8.5
	女子	1772	34.0	24.3	19.8	14.6	12.0	13.1	9.2
文理別	文系	1695	30.7	22.0	20.2	18.2	14.2	11.3	9.0
	理系	1220	36.1	22.2	17.6	14.1	12.6	11.4	8.4
高校所在エリア別	北海道	106	34.0	23.6	19.8	4.7	13.2	16.0	11.3
	東北	193	37.3	24.4	15.5	10.9	17.1	10.4	13.0
	北関東・甲信越	274	39.1	28.1	19.7	19.0	21.5	15.0	12.4
	南関東	953	27.3	19.2	18.2	17.0	4.7	9.4	4.9
	東海	367	30.0	15.3	22.3	21.0	20.4	7.1	8.2
	北陸	61	37.7	24.6	13.1	14.8	26.2	14.8	13.1
	関西	611	32.2	23.2	20.5	17.7	11.6	9.7	7.7
	中国・四国	212	46.2	28.3	21.7	9.0	22.6	20.8	16.5
	九州・沖縄	262	37.4	29.0	19.8	16.0	16.8	17.6	13.0
	大都市圏	1645	28.8	19.9	19.6	18.2	7.3	9.4	6.0
	大都市圏以外	1394	37.9	25.3	19.2	14.0	20.4	14.1	12.4

※「2016年 大学進学者 全体」の降順ソート

全体値時系列 → 100.0 最も高い

※「*」は該当項目なし

100.0 2~3番目に高い

100.0 「2016年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い

100.0 「2016年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い

※「とても重視した」「ある程度重視した」「どちらともいえない」「全く重視していない」「あまり重視していない」の5段階で質問し、前2つの選択肢の回答を合わせて「重視した」とした。
 ※「大都市圏」は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県の合計
 ※「大都市圏以外」は、上記「大都市圏」以外の都道府県の合計